

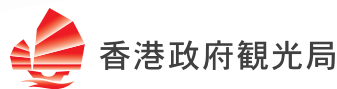


キャセイパシフィック航空で、
たったの4時間*

香港へ、オトナごほうび旅。

香港スタイル 検索

香港スタイル



*日本国内の出発地によって異なります。



飛 龍

FLYING DRAGON

日本香港協会ニュース No.73

香港政治2013年の注目点

立教大学法学部准教授 倉田 徹

就任から半年あまりの梁振英行政長官の施政は、ここまで波乱の連続であった。就任同時の実施を目指した政府の改組は立法会に廃案とされ、麦齊光發展局長は就任2週間足らずで廉政公署に逮捕され辞職、その後も高官2名と梁長官自身に立法会で不信任動議が提出され、梁長官には史上初の弾劾動議も起こされた。反国民教育運動や7月1日・元旦デモなど大型の抗議活動も相次ぎ、香港大学調べの市民の梁長官への100点満点での評価の平均値は50点前後の低空飛行を続けている。これは曾蔭権前長官が当選後約3年間ほぼ60点以上を維持したのとは対照的である。

なぜこうなってしまったのか。不動産高騰・大陸観光客の殺到・密輸の横行などの前政権が残した課題を、梁長官が引き継ぐハメになったのが支持低迷の一因であるが、新政府自身の問題も小さくない。まず、梁長官を支える人材の質に問題がある。梁長官は左派系の人物を高官や各種の諮問委員などで重用しているが、彼らの言行はしばしば物議を醸している。民主派や財界に近い人物を味方につけ、政権基盤を固めねばならない。さらに、梁長官個人の問題もある。自身の不法増築スキャンダルなどについても説明不足であるし、普段から発言があまりに実務的で考えが見えにくい。従来の「隠れ黨員説のある謎の人」というイメージを払拭しなければ、支持率の回復も難しいであろう。

政権立て直しのため、今年梁長官はどのような手を打ってくるか。手っ取り早く支持を得る方法はバラマキであるが、梁長官は2月27日発表の予算案ではこれを回避した。今後予算の立法会審議の際、議員の圧力で譲歩を迫られる可能性はあるが、梁長官がバラマキを拒む背景には、中央政府が強い行政長官・強い統治

を望んでいるという事情がある。北京は香港問題を国家の主権・安全の問題と見ており、西側勢力の香港への、或いは香港を通じた大陸への浸透を真剣に憂慮している。米英の意を汲む民主派は排除の対象とされ、国家安全条例制定などの統制強化策も再浮上するかも知れない。

しかし、北京や梁長官が民意に妥協しないことを「強い政治」と考えるならば、それは現在の制度と政治環境では実現が難しい。選挙がない今年、市民が不満を表す場はデモや集会となる。昨年香港では約2000件のデモが発生した。火種はいくらでも存在する。北京の強硬化を背景に梁長官が強硬姿勢を強めるならば、2013年も波乱の年となることは避け難いであろう。

そして、中央政府・香港政府の強硬な姿勢により複雑化が懸念されるのが、梁長官にとって最大の政治課題とも言うべき、2017年の行政長官選挙の方法の問題である。同選挙は普通選挙化が見込まれているが、その実現の条件は、政府の選挙方法案に香港立法会の3分の2が賛成することである。民主派からも一定の支持が必要であるが、香港政府・中央政府の支持低下を受けて民主派は強硬化している。特に今年に入ってから、香港大学の戴耀廷教授が、セントラルの公道上で公正な普通選挙を求めて1万人単位の座り込みを行う「オキュパイ・セントラル運動」を提案して多数の民主派の賛同を得た。民主派は多数の逮捕も辞さずに民主的な選挙方法を求める姿勢である。これに中央政府は強く反発しており、普通選挙実施の際には、北京は保守的な選挙委員による予備選挙を行うことで、民主派候補を選挙から排除する制度の導入を求めると予想されている。現在両者に妥協点は見えないが、それを探るのが梁長官の難しく重い仕事となるであろう。

目次

2013年4月 発行

香港政治2013年の注目点	1	中 京：平成25年度年頭所感及び総会、セミナー、新年名刺交換会について	10
Asia's World City 香港	2	九 州：九州・香港交流懇談会（講演会）	11
香港財界人との交流(2) Robert Kuokさんのこと	3	山 形：2013年度春節セミナー&パーティー	12
今も昔も香港映画(上)	4~5	北海道：「香港ビジネスセミナー」、「香港のつどい2013」を開催	13
連合会・各協会便り		宮 城：全国事務局長会議、昼食講演会が「仙台」で開催、香港宮城県人会顧問・安部隆孝氏が来仙	13
香港貿易発展局 香港トレードフェアカレンダー	6	沖 縄：	14
連合会：2013香港春節レセプション開催、第10期CMMS特別セミナー開催	7	広島：広島日本香港協会、中華料理で春節を祝う	15
東 京：NPO日本香港協会女子プロジェクト「バウヒニア会」本格始動!	8	キャセイパシフィック航空からのお知らせ	16
関 西：チャイニーズ・ニュー・イヤーズ・パーティー2013、2013香港・春節セミナー in 大阪、文化部セミナー開催	9		

Asia's World City 香港

香港政府観光局

2013年も香港政府観光局では、様々な活動を通して「Asia's World City 香港」のブランディングを強化していきます。1月には、公式ホームページ(DiscoverHongKong.com/jp)を全面的にリニューアルしました。香港の基本的な観光情報に、旅の準備や旅行中に便利な情報を網羅するとともに、ツイッターやYou Tubeなどのソーシャルメディア、スマートフォンにダウンロードできるアプリなどの情報をわかりやすく掲載していますので、ぜひご覧ください。

2013年に最も注目されている新しい施設は、香港啓徳国際空港の滑走路の跡地に建設されている「カイトック・クルーズターミナル」です。6月にオペレーションを開始する予定で、完成すると世界で最も大きいクルーズ客船を停泊させることができます。1時間に3,000人もの人を通過させる最新の設備を備えたターミナルになります。



カイトック・クルーズターミナル

そのほか、現在拡張工事中の「香港ディズニーランド」や「オーシャンパーク」に今年も続々と新しいテーマエリアやアトラクションが登場予定です。

また、香港では年間を通じて様々なイベントが開催されます。6月21日から23日までは、「香港国際ドラゴンボートレース」がイーストチムサアチョイの海辺、ピクトリア・ハーバー沿いで行われます。香港のローカルチームや、各国の代表が競い合うほか、近隣の公園では、ビアガーデンなどが開かれ、お祭りムードの中レースの観戦を楽しむことができます。そして、ドラゴンボートレースに引き続き8月いっぱいまで行われるのが「香港サマースペクタキュラー」です。街中でセールが行われ、ランカيفونなどの飲食エリアでのストリートカーニバルなど、暑い



香港ワイン&ダイニングフェスティバル

夏に刺激的なイベントがたくさん！秋には、中秋節。昨年に引き続き、巨大ランタンなどの展示がされるランタンフェスティバルが開催予定です。そして、10月31日から11月3日に行われるのが、「香港ワイン&ダイニングフェスティバル」。今年会場をセントラルに移し、さらに参加がしやすくなりました。アルコール度数30度以下のお酒には税金がかからない香港は今、空前のワインブーム。屋外の開放的な空間で、各国から集まったワインの試食を観光客や香港のローカルの人々と入り混じって楽しむこのイベントは、今香港で最も注目すべきイベントの1つとなりました。年末には、イルミネーション輝くロマンチックな街香港を楽しめる「香港ウィンター・フェスタ」が開催されます。年末のカウントダウンも年々スケールを増し、華々しく行われます。

新しい施設やホテルの建設、そして絶え間なく行われているイベントの数々。2013年も香港は、いつでも皆様のお越しをお待ちしております。



香港国際ドラゴンボートレース

香港財界人との交流(2) Robert Kuokさんのこと

日本香港協会会長 賤前 宏

Kuokさんと私は北京空港の仲と言っている。彼は、マスコミには用心深いせい香港でも連日のようにあるパーティで彼を見たことはない。私は香港のあと北京に駐在したが、日程の許す限り香港に週末出かけるようにしていた。天安門事件の後でもあったが、北京では何の情報も入らない。情報を得るには香港で仲間と話し合うのが一番だ。

不思議なことに北京の空港で飛行機を待っていると(今も時間通りに運行しない点は同じだが、当時の汚い待合室で搭乗口を見ていないと乗り損なう危険があった) Kuokさんとばったり会ったことが4・5回ある。そこで彼のことを「空港の仲」と呼んでいた。ふたりで汚い椅子に腰を掛け色々な話をしたが、彼は子供に論ずるよう中国について教えてくれた。彼はマレーシア生まれだが父親は福建省出身だ。シンガポールの名門校、Raffles Instituteで学んだためか実に綺麗な英語をしゃべる。

第二次大戦中、三菱商事のジョホールバル支店で穀物取引をやっており、それが後年の砂糖、ヤシ油、小麦粉、飼料用穀物など大穀物商としての基礎を築いたようにも思われる。おそらく筆者に対しては、欧米しか知らない頼りない支店長が来たので少し教えてやろうという親切心から交友が始まったのかもしれない。私のパーティには必ず出席してくれた。私が香港にいた時には既にチムシャツイのShangri-La Hotelはできていたが、更にPacific Placeに豪華なIsland Shangri-Laが完成した。ロビーから上層階の吹き抜けに巨大なタペストリーがあり、彼は本土から職人を連れてきて作らせたが、いかに安く仕上がったか自慢していた。元々穀物商で巨万の富を築いたわけだが、当時は既にホテル、港湾事業、海運、その他事業に投資家として活動しており(93年にはMurdochから香港の英字紙South China Morning Postを買収)、特に中国におけるホテルの展開に情熱を燃やしていたように思われる。

冒頭の北京空港での出会いも本土内各地での交渉事は別として、最終決断は彼一人で行っていたように思える。因みに彼は殆ど単身で、時たまかばん持ちが1人ついていただけであった。投資先はアジア各国からオセアニア、欧米と世界各国に広がっていたが、私の記憶が正しければ、北米ではバンクーバーまでは投資していたが、アメリカがないのが当時不思議に思った記憶がある。相手が世界の富豪の一人だし、無理に投資して少数株主となっても意味はないので、共同で事業を起こすといった接点はなかった。穀物取引は会社同士であったが、彼も投資を勧めたりしなかったので長い関係が続いたのかも知れない。私は彼を「自動車製造よりホテル」「飛行機より不動産」とターゲットが違うと見ていたが、香港駐在時代は折に触れ彼の事務所(中国銀行ビル)を訪ねて意見を聞いた。多忙にもかかわらず、いつも会ってくれた。その後北京に転勤となり、事務所がKuokさんのKerry Groupが造った当時としては最もモダンなBeijin World Trade Centreとなったのも御縁かも知れない。その後私も東京に帰り、Kuok

さんも家族連れで日本に来る際は会社の上層部を紹介しパーティ等をしたが、高齢にも拘わらず喜んで出てくれた。糧油総会社の40周年か50周年のパーティが人民大会堂であり、私も招かれ東京から参加した。中国の食糧の輸出入を司る巨大国営企業なので党の幹部も総出であった。主要招待客は特別席に座り、私など一般人は並んで主要招待客に挨拶した。

腰を抜かさばかりに驚いたのは、Kuokさんと呉儀さんが並んでブースに座っていたことだ。先方も久しぶりと握手した。Kuokさんも驚いたようだが、呉儀さんと私は北京時代の関係だ。昔美人の呉さんは既に対外貿易部(通産省)の大臣になって居りその後、副首相にまで上り詰めた。対外貿易部の大臣の頃には私の住まいのリドホテルに時々夕食に来てくれた。あなたは奥さんがいるから(日本人駐在員は殆ど単身赴任であった)夜ここにきても誤解されないといていた。実は日本人商工会議所を作ってくれと言われて、当局との折衝で(結社の自由がない国なので認めないというし)困っていたが、都度呉さんに助けを求めていた。彼女も商工会議所なるものは知らなかったの、あなたは新しい商会を作るのかといわれた。

実は驚いたというよりはすべてが氷解したと言った方が適切であろう。外貨もないし、当初は飢餓輸出の如き状態で、国際的商習慣にも慣れていない糧油会社が中国向け穀物の大量買い付けが出来たのもおそらくKuokさん等が陰で手助けしていたに違いない。70年代後半まで日中貿易は小さな友好商社だけが参加できたが、日本全体でみれば中国との取引は皆無に等しかった。一方香港でも李嘉誠とかY.K.Paoさん等、巨大華僑が対中投資に逡巡しているときにKuokさんは投資をしていたわけだ。勿論、李鵬など共産党トップとの関係もあったであろうが、対外貿易部傘下の華潤集団が着々と香港に97年以前に基盤を築けたのも彼の影の力があってと推測できる。

1993年Coca Colaが内陸にもビン詰め工場を設けることとなり大半をKuokさんのKerry Groupが握ることとなったが、それ以前に沿海部では13工場がKerry, Swire Groupで展開されていた。いずれにしても空白のない対中投資が続いていたわけだ。Kuokさんがホテル事業に当時全精力を傾注したのもこの延長線上であろう。前述の空港での話だが「子供の頃母親が郷里の中国がいかに貧しい所か、人々は全く文明化されていないこと」など毎日話してくれたと言う。おそらくその後も変わっていないことを教えてくれたことが最も印象に残っている。97年7月のForbes誌の表紙にKuokさんが載った。World's Shrewdest Businessmanとなっているが私には父親のような存在であった。

余談だが、Shangri-La Hotelは各地で成功を取めているが、パリにも桃源郷が出来た。エッフェル塔とセーヌ川を一望する16区にあり、元はナポレオンを大伯父にもつローラン・ボナパルト王子の邸宅だ。一度泊まるように勧められたが、年なので残念ながら写真で見ただけとなっている。

香港政府観光局

公式ホームページ: DiscoverHongKong.com/jp

Facebook: <http://www.facebook.com/DiscoverHongKong.jp>

Twitter: http://twitter.com/HKTB_JP



今も昔も香港映画 (上)

読売新聞元香港支局長 戸張東夫

1970年代前半の5年間を香港で過ごしたことが縁で、すっかり香港映画ファンになってしまった。あれからかれこれ40年近い歳月が流れた。だが、これだけは今でも変わらない。ときどき無性に広東語(粵語)の映画を観たくなり、広東語が香港映画の魅力のひとつだと認識を新たにしたり、東京で香港映画を公開することが少なくなったことを嘆きながら、DVDで香港のアクション映画に目を細めたりしている。

そうなのだ！香港映画の面白さはなんといってもアクション映画にあるのだ。そして香港のアクション映画といえば、これはやはりカンフー映画から始めないわけにはいかないであろう。

ブルース・リー、ブームの背景

日本香港協会のメンバーの方々には説明する必要はないかも知れないが、カンフー映画とは中国由来の伝統的拳法による戦いをテーマにしたアクション映画。中国拳法を中国語では功夫といい、英語でKung fu (カンフー)と呼び慣わしている。中国では功夫片といっている。もとは武侠片(時代劇)と区別されていなかったが、後年剣や槍を操る武者中心の武侠片から切り離されて独立した。徒手空拳で強敵に立ち向かうヒーローの技と演技が売り物である。

カンフー映画は、世界広しといえども、どこの国や地域の映画にも見られない香港特有のアクション映画だ。もちろん中国国内でも作られていない。このカンフー映画を全世界の映画ファンに認知させたのがほかならぬブルース・リー(李小龍)である。

ブルース・リーはアメリカ生まれ。中国拳法の格闘家として知られた。1971年香港にやってきて『ドラゴン危機一発(唐山大兄)』を作ったが、これが大ヒットしてこの年の興行収入ナンバーワンを記録した。続く『ドラゴン怒りの鉄拳(精武門)』と『最後のブルース・リー ドラゴンへの道(猛龍過江)』も大好評でカンフー映画ブームを巻き起こした。さらに73年アメリカの大手映画会社ワーナーブラザーズと提携して『燃えよドラゴン(Enter The Dragon、龍争虎闘)』を発表して一躍国際的スターとなったが、73年この映画の公開を待たずに急逝し、伝説のカンフースターとなった。

これらの映画が熱狂的なブームを巻き起こしたのは、もちろんブルース・リーの鍛えぬいた身体や動作、本物のカンフーの技が観衆を魅了したからである。だがこのブームにはそれだけでは説明しきれない何か、迫力というか、広がりというか、そんなものが感じられたのである。

70年代初め中国国内では依然として文化大革命が続いていた。この「人々の魂に触れる革命」による政治の混乱、経済の停滞、社会秩序の崩壊がいつ収束するか全くわからなかった。お先真っ暗であった。だが目

を国外に向けると中国の新たな胎動が始まっていた。71年中国は念願の国連復帰を果たした。72年には、あの世界最強の「アメリカ帝国主義」の頭目ニクソン大統領がはるばる太平洋を渡り、膝を屈して北京の門を叩いたのである。米中接近の始まりだった。続いてこの年宿敵日本とも国交回復を実現した。中国が国際舞台に大きく登場してきた。中国ブームが世界中を沸き立たせた。「中国は立ち上がった！もう誰にも馬鹿にされないぞ！」世界中の華人たちがプライドを取り戻し、喜びに胸を膨らませていたのである。日本人武道家や欧米の格闘家、麻薬組織のボスなど中国人を軽蔑し、乱暴を働く悪者どもをスクリーンの上で叩き伏せることによってブルース・リーは世界中の華人を鼓舞し、その高揚した心を一段と燃え上がらせていたのである。

これがブルース・リーブームの真実であろう。当時香港でブームを体験した筆者の実感である。

78年袁和平監督の『スネークモンキー蛇拳(蛇形刁手)』と『ドラゴン・モンキー(酔拳)』の二作で一躍カンフー映画のニュースターとして登場したのがジャッキー・チェン(成龍)である。自ら中国武術を学んでおり、ブルース・リーの後継者と目された。酔えば酔うほど強くなる酔拳だとか、蛇拳といった奇妙な拳法から窺えるように、ジャッキーはカンフーにユーモアや遊びを加え、独自のコミカルなカンフー映画を作り出した。ブルース・リーが厳しく、強く、殺気を感じさせたのに対して、ジャッキーは愉快で、楽しく、面白かった。

『ポリス・ストーリー／香港国際警察(警察故事)』(1985年)にしても、『ツイン・ドラゴン(雙龍會)』(1991年)、『ラッシュアワー(Rush Hour)』(1998年)にしてもジャッキーのカンフーは面白い。『ゴージャス(玻璃樽)』(1999年)で見せただぶだぶの上着を小道具にしたヨットの上の立ち回りや、それに続くオートバイと金属バットを使ったアクロバットのようなカンフーは「技」というより「芸」のようにも思えた。

ジャッキーは現在も第一線で活躍しているが、1954年生まれで、そろそろ還暦だ。いつまでもカンフーを続けるわけにもいくまい。そろそろ次代のカンフースターが観たいものだと考えていた。だが2011年東京で公開された『イップ・マン 序章(葉問)』(2008年)と『イップ・マン(葉問2)』(2010年)を観て、筆者が気がつかないうちに新しいスターが生まれていたことがわかった。実在した中国人武術家葉問を演じたドニー・イエン(甄子丹)である。翌年日本公開された『捜査官X(武俠)』(2011年)にも出演している。

ここではカンフー映画以外のアクション映画に触れておきたい。ドニー・イエンはまた別の機会に語ろうと思う。

アクション映画は香港映画の顔である。製作本数も

圧倒的に多いのではなからうか。だから警察と犯罪組織の闘いや暴力組織同士の抗争など内容もバラエティーに富んでいる。天安門事件でも、香港の中国返還問題でも、何でもアクション映画にしてしまう。香港映画にもラブロマンスやコメディのようなジャンルがないわけでもないが、どれも影が薄い。香港映画のベースがアクション映画で、その内容がさまざまなジャンルに分かれているというのが長い間香港映画に親しんできた筆者の印象である。

そんなわけで香港のアクション映画の全容を語るには至難の業だ。ここでは筆者がもう一度観たい映画、『飛龍』の読者諸氏に勧めたい映画を10作品紹介したうえで、それらの映画を基に話を進めたい。あの映画も含めたい、この映画も、となかなか決められないが、「エイ！」と以下の10本を選んでみた。(表1)

香港のアクション映画 みんながって みんないい

これらの作品はみんな違って、みんないい。どれかひとつご覧になってほしい。アクション映画は好みに合わないという向きには、次号で香港映画の別の顔を語る予定である。

さて最初に挙げた『省港旗兵 九龍の獅子』は、隣接する中国の広東省から香港に出稼ぎに来た強盗グループの物語。首尾よく宝石店に押し入ったものの、中国には戻れず警察隊に撃たれて全員死んでしまう。当時香港でこの種の事件が頻発した。強盗と警官の銃撃戦に巻き込まれて無辜の住民が死んだケースも報じられ、社会問題になっていたのをテーマに取り上げた。映画と社会は地続きだった。実録犯罪映画とも言うべきか。十番目の『奪命金』も実録映画といってよからう。個人の力の及ばない株価や為替レートの変動に一喜一憂し、振り回され、時に人生を誤らせられてしまう香港の普通の人たちとカネとの関わりを、ユニークなアクションドラマに仕上げた。奪命金とはまた身につまされるタイトルではないか。

二番目の『男たちの挽歌』はまた別のタイプ。登場人物が二挺拳銃を撃ちまくるは、大勢の人たちが死ぬは、



ブルース・リーは永遠なり

戦場のような銃撃戦が展開されるは、という具合に常識では考えられない画面が次々に展開する。実はこれは現実社会から隔離したファンタジーの世界の出来事なのだ。だから安心して楽しめるのである。ジョン・ウーはこのようなファンタジーを生み出す名監督として知られている。残りの七つは全てこのタイプの作品と見てよいであろう。

『インファナル・アフェア』は警察と麻薬組織との攻防戦を背景に、麻薬組織に潜入した捜査官と、警察中枢に紛れ込んだ麻薬組織のニセ捜査官によるスリリングな闘いが繰り広げられる。傑作といつてよからう。日米両国でリメイクされたのがその証拠である。まず2006年米国メジャーのワーナー・ブラザーズがマーティン・スコセッシ監督による『デパーテッド(The Departed)』を製作。その後2012年日本のテレビ2社(WOWOW、TBS)が共同で『ダブルフェイス〜潜入捜査編』と『ダブルフェイス〜偽装警察編』の二編を制作、同年末放映した。筆者はテレビ版では前者しか観ていないが、西島秀俊が潜入捜査官、香川照之がニセ捜査官という配役がよかったし、二人とも好演だった。『デパーテッド』より面白かった。

またこれら10作品の中では、『天使の涙』と『ワンナイト・イン・モンコック』も捨てがたい。基本的にはファンタジーだが、強い香港臭が感じられるところがいい。(以下次号)

(表1)

日本公開タイトル(原題)	監督名	製作年
『省港旗兵 九龍の獅子(省港旗兵)』	ジョニー・マック(麥當雄)	1985
『男たちの挽歌(英雄本色)』	ジョン・ウー(吳宇森)	1986
『狼/男たちの挽歌 最終章(喋血雙雄)』	ジョン・ウー	1989
『天使の涙(墮落天使)』	ウォン・カーワイ(王家衛)	1995
『インファナル・アフェア(無間道)』	アンドリュウ・ラウ(劉偉強)、アラン・マック(麥兆輝)	2002
『インファナル・アフェア 無間序曲(無間道II)』	アンドリュウ・ラウ、アラン・マック	2003
『インファナル・アフェアIII 終極無間(無間道III:終極無間)』	アンドリュウ・ラウ、アラン・マック	2003
『ワンナイト・イン・モンコック(旺角黑夜)』	イー・トンシン(爾冬陞)	2004
『冷たい雨に撃て、約束の銃弾を(復仇、Vengeance)』	ジョニー・トー(杜琪峰)	2009
『奪命金(奪命金)』	ジョニー・トー	2011

香港春節レセプション2013開催

日本香港協会全国連合会事務局

香港・日本経済委員会、香港経済貿易代表部および香港貿易発展局共催による「香港春節レセプション2013」がさる2月14日(木)都内マンダリンオリエンタル東京にて開催されました。今年の春節レセプションは日本の財政界、学術界、コミュニティ団体から約270名が出席するという華やかな催しとなりました。最初に香港特別行政区CY・リョン(梁振英)行政長官からの新年の挨拶(ビデオメッセージ)があり、引き続き香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部サリー・ウォン首席代表による開宴の挨拶、香港・日本経済委員会委員長/香港中華総商会名誉会頭(前会頭)/新華集団会長兼社長ジョナサン・チョイ氏による歓迎の挨拶、日本香港友好議員連盟会長/国民新党代表自見庄三郎氏による来賓挨拶の後、在カンボジア日本国特命全権大使(前在香港日本国総領事)隈久良氏より乾杯の挨拶を頂きました。また、隈氏からは、新たに在香港日本国総領事に就任された野田仁氏が紹介されました。



壇上での乾杯のあいさつ

協会の様々な行事、香港フォーラム等がビデオクリップで紹介されました。終盤では横浜中華学校校友会国術団による獅子舞が披露されたほか、キャセイパシフィック航空様、マンダリンオリエンタル東京様、香港政府観光局協力による豪華賞品が当たる大抽選会も催されました。

大いに賑わった本年度春節レセプションは、香港貿易発展局古田茂美日本首席代表による挨拶とともに閉会されました。

途中、香港貿易発展局による活動ハイライト2012と活動紹介2013の中では、TDCの活動のほか、各地の日本香港

第10期CMMS特別セミナー開催

2012年9月に開講された理論編15講座、実践編15講座の全30講座からなる第10期チャイニーズ・マネジメント・アンド・マーケティング・スクール(CMMS)は、さる2月15日(金)日本外国人特派員クラブにおいて、香港財閥のトップである香港中華総商会名誉会頭ジョナサン・チョイ氏をお招きし、本講座の第28回講義となる華人経営演習「華人経営の倫理とその精神」についての特別セミナーを開催しました。

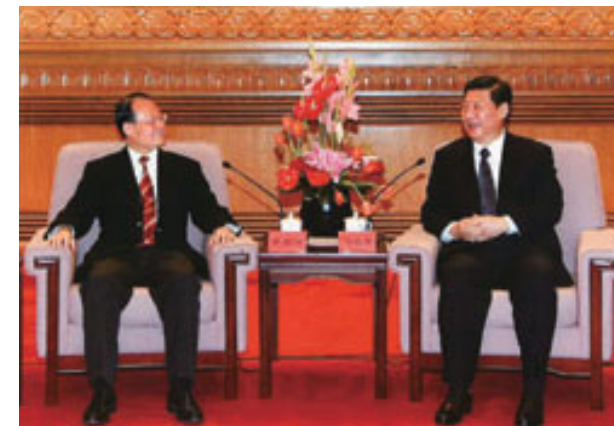


ジョナサン・チョイ氏講義風景(スクリーン向うは大阪会場受講生)

本セミナー講師であるジョナサン・チョイ氏は、マカオ生まれ、香港育ちの香港を代表する財界人で、若くして父親が始めた海鮮問屋を引き継ぎ、その後わずか30年で不動産や金融、そして映画などのメディアまで手掛ける、巨大企業グループに育てあげた人物です。事業では香港新華集団総裁も務め、一方、香港で約6,000社が属する香港中華総商会の名誉会頭も務めています。また、中国政治協商会議メンバーでもあることから、中国中央政府とのパイプも太く、日本とは香港・日本経済委員会の香港側委員長として日本へも深く関心を寄せています。

今回の講義はCMMSのOBを含む全受講生を対象とするもので、中国をはじめアジアで多角的に国際事業を展開される大物華人事業家から、アジア・ビジネスにおける要点を、直接聞く事ができる大変貴重な機会ともあり、多数の受講生の方々に参加して頂くことができました。

今年で記念すべき10周年を迎えたCMMSですが、第9期からは、関西と東京の教室をテレビ会議システムで結んでの授業を展開しています。今回の特別セミナーも大阪会場(香港貿易発展局)と東京会場である日本外国人特派員クラブを、テレビ会議システムをつないでの講義となり、CMMSモデレーターである古田茂美日本香港協会全国連合会事務局長の開会の挨拶で始まり、前半はチョイ氏による講演、後半は会食を取りながらの質疑応答に入り、活発な意見交換、ディスカッションが繰り返されました。また、立命館大学守政毅先生にも出席頂き、今回の講義の基礎資料として使用させて頂いた守先生の論文「華人ビジネスネットワークの連結機能-香港中華総商会を中心に-」についてお話を伺うことができました。



習近平氏(右)と会談するジョナサン・チョイ氏

香港貿易発展局

香港トレードフェアカレンダー

会場 H 香港コンベンション&エキシビジョン・センター(Hong Kong Convention & Exhibition Centre)
A アジア・ワールド・エキスポ(AsiaWorld Expo)

2013年2月現在

1月	7~9	H	香港国際ライセンスショー Hong Kong International Licensing Show	5月	14~16	H	香港国際医療機器&医薬用品フェア Hong Kong International Medical Devices and Supplies Fair
	7~10	H	香港玩具&ゲームフェア Hong Kong Toys & Games Fair	7月	8~11	H	香港ファッション・ウィーク春/夏 Hong Kong Fashion Week for Spring/Summer
	7~10	H	香港国際文具フェア Hong Kong International Stationery Fair		17~23	H	香港ブック・フェア Hong Kong Book Fair
	7~10	H	香港ベビー用品フェア Hong Kong Baby Products Fair	8月	15~17	H	香港インターナショナル・ティー・フェア/香港国際茶展 Hong Kong International Tea Fair
	14~15	H	アジア金融フォーラム Asian Financial Forum		15~17	H	漢方博覧会 現代漢方&ヘルスケア製品展・国際会議 International Conference & Exhibition of the Modernization of Chinese Medical & Health Products
	14~17	H	香港ファッション・ウィーク秋/冬 Hong Kong Fashion Week for Fall/Winter		15~19	H	フード・エキスポ Food Expo
	14~17	H	ワールド・ブティック香港 World Boutique, Hong Kong	9月	4~8	H	香港ウォッチ&クロック・フェア Hong Kong Watch & Clock Fair
	31~2/3	H	教育&職業エキスポ Education & Careers Expo	10月	13~16	H	香港エレクトロニクス・フェア(秋) Hong Kong Electronics Fair (Autumn Edition)
3月	5~9	H	香港インターナショナル・ジュエリー・ショー Hong Kong International Jewellery Show		13~16	H	エレクトロニックアジア electronicAsia
	18~21	H	香港フィルマート FILMART(Hong Kong International Film & TV Market)		27~30	H	香港インターナショナル・ライティング・フェア(秋) Hong Kong International Lighting Fair (Autumn Edition)
	18~4/13	H	エンタテインメント・エキスポ香港 Entertainment Expo Hong Kong		28~30	A	香港国際建築資材・装飾資材・機械設備展 Hong Kong International Building and Decoration Materials & Hardware Fair
4月	6~9	H	香港インターナショナル・ライティング・フェア(春) Hong Kong International Lighting Fair (Spring Edition)		28~31	A	エコ・エキスポ・アジア環境保護関連国際見本市 Eco Expo Asia - International Trade Fair on Environmental Protection
	13~16	H	香港エレクトロニクス・フェア(春) Hong Kong Electronics Fair (Spring Edition)		29~31	A	スポーツ用品フェア・アジア Sports Source Asia
	13~16	H	インターナショナルICTエキスポ International ICT Expo	11月	6~8	H	香港オプティカル・フェア Hong Kong Optical Fair
	20~23	H	香港インターナショナル・ホームテキスタイル・フェア Hong Kong International Home Textiles Fair		7~9	H	香港インターナショナル・ワイン&スピリッツ・フェア/香港国際美酒展 Hong Kong International Wine & Spirits Fair
	20~23	H	香港ハウスウェア・フェア Hong Kong Houseware Fair	12月	5~7	H	世界中小企業エキスポ World SME Expo
	27~30	H	香港ギフト&プレミアム・フェア Hong Kong Gifts & Premium Fair		5~7	H	イノベーション・デザイン&テクノロジー・エキスポ Inno Design Tech Expo
	27~30	A	香港国際印刷・包装展 Hong Kong International Printing & Packaging Fair				

*日程は変更になる場合がございます。



英・中文サイト: www.hktcdc.com/ 日本語サイト: www.hktcdc.com/japan

東京事務所 102-0083 東京都千代田区麹町3丁目4番地 トラスティ麹町ビル6階 Tel:03-5210-5850 Fax:03-5210-5860 tokyo.office@hktcdc.org
大阪事務所 541-0052 大阪市中央区安土町2丁目3番13号 大阪国際ビルディング10階 Tel:06-4705-7030 Fax:06-4705-7015 osaka.office@hktcdc.org

TOKYO

NPO法人日本香港協会

NPO法人日本香港協会 女子プロジェクト「バウヒニア会」

NPO日本香港協会女子プロジェクト「バウヒニア会」本格始動!



説明をする講師櫻井景子氏と参加者

2月16日(土)冷たい風の吹き荒れる中、NPO日本香港協会女子プロジェクト「バウヒニア会」本格始動イベント第一弾として、「香港キッチンカフェ x 食文化探訪講座」を開催いたしました。

私たち「香港愛」にあふれた女性会員はいつの日か、公私ともに連携できる仲間を探すグループを作りたいと思っていました。理事会の中でも女性会員組織を作ったらどうかという機運が出てきた一昨年秋、会員の方からメールでの「これだけ多くの女性が香港に旅行し消費もするのに、なぜ香港協会では、女性向けイベントがないのか?」という問いかけを契機に、理事会も本気で動き始めました。それから準備期間一年余り、運営メンバーを募り、やっと本格的に始動することができました。もちろん、協会にメールをくださった会員も「バウヒニア会」の運営メンバーとなっています。現在、運営メンバーは7名、まだまだ小さなグループですが、香港の文化、ビジネス、観光など香港に関連するイベントや交流会など企画してまいります。

「バウヒニア」というのは香港の旗にも描かれている花の名前です。香港に行ったことがある方は一度は見たことがある花だと思えます。お心当たりのない方は、私たちのFacebookのページをご覧ください。

今回の「香港キッチンカフェ x 食文化探訪講座」は、香港で料理教室を主宰し、料理愛食家としても著名な櫻井景子氏を講師に、旧正月の下記の家庭料理2種を学びました。

- ・港式臘味蘿蔔糕 大根もち(焼き/蒸し2種類)
- ・珍珠丸子 もち米しゅうまい(點心風)

とってもポピュラーで、簡単そうに見える大根もちですが、作ってみると意外に難しいのです。固すぎたり、



大根もち2種ともち米しゅうまい

軟らかすぎで固まらなかったりと。今回の講座では、実際に作る過程を見ることによって、そのコツを知ることができたのが大きな収穫でした。本場の作り方と、日本で手に入れることができる材料で作る場合との違いもとても勉強になりました。大根もちも焼いたものと、蒸したものでは材料は同じもののはずなのに、蒸したものは大根の味を、焼いたものは香ばしさと中に入れた具の味を強く感じました。もう一品のもち米しゅうまいは、想像していたよりずっと簡単にできることを発見、早速、翌日の食卓に上りました。それに加え、乾物の扱い方についても知ることができ、参考になりました。

私たちの食文化探訪講座は、レシピを知的財産権の範囲内として、Webなどには公開しませんので、コツや分量などなどどうしても知りたい!という方は、ぜひご参加ください。

今回の参加者にはなぜか、普段あまりお料理をしないという方が多かったのですが、ときばきしながらも、しぐさがとても優雅な櫻井景子氏の手先をみていて、「お料理なんかこわくない、難しくない」と思えてくる様子がみてとれ、とても不思議な感じがしました。

試食のときには、點心に欠かすことのできない中国茶を試飲しました。30年物の雲南嫩尖普洱茶という、緑茶製法で作ったものを陳化発酵させたもので、いわゆるビンテージものと言われるものです。油脂分の多いお料理にはぴったりで、飲んだ後に口の中がすっきりするタイプです。これが生茶とか青餅と呼ばれる普洱茶で、熟茶と呼ばれる強制発酵させた一般的な普洱茶とは、製法・漢方の見地からする効能に違いがあります。世にいう減肥効果のある普洱茶は、今回試飲したタイプのお茶です。

今回は、旧正月のお料理の中から2品を選び、ちょっと贅沢に楽しむ普洱茶を合わせるといふ、プチ香港旧正月をお楽しみいただきました。

おみやげも、香港政府観光協会、香港貿易發展局、JCBカードご提供の観光ガイドブック、ガイドマップ、メモ帳&ボールペンセット、エコバック、バゲッジタグなど香港観光に必携品のかずかず、そして講師お手製のプチ馬來糕、7年物普洱茶などと充実していて、受講生の皆様にご好評をいただきました。この場をお借りし、ご提供くださった各社に御礼申し上げます。

これからも、テーマ設定をしてそれに合わせたお料理とお茶をご紹介しますので、どうぞご参加ください。

次回の食文化探訪講座は、5月ごろを予定しています。そのほかにも、企画中のものが数々ありますので、facebookや協会のホームページをご覧ください。また、企画のご提案や運営メンバー参加にご興味のある方は、下記あてにご連絡ください。

バウヒニア会からのお知らせ:

<http://www.jhks.gr.jp/tokyo/bouhinia.html>

Facebook:

<http://www.facebook.com/bauhinia.tokyo>

E-mail: bauhinia.tokyo@gmail.com

KANSAI

関西日本香港協会

関西日本香港協会理事・事務局長 戒田真幸

チャイニーズ・ニュー・イヤー・パーティー2013



チャイニーズ・ニュー・イヤー・パーティー2013 来賓の皆様と木全会長(中央右)、田中副会長(右から5番目)

関西日本香港協会では、2013年度総会とチャイニーズ・ニュー・イヤー・パーティーを2月27日にヒルトン大阪で118名の参加者を得て盛大に開催しました。パーティーには香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部、中華人民共和国駐大阪総領事館、経済産業省近畿経済産業局や関西経済連合会などの経済団体の代表の方たちにも多数参加していただき、大変有意義な懇親行事を実施することができました。

パーティーは木全千裕会長の挨拶で始まり、香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部次席代表の徐逸(アルビス・ツイ)氏は来賓挨拶の中で、最近の中国と日本の緊張関係にもかかわらず、香港と日本の友情とビジネスの絆は長年にわたり保たれており、中国やアジア、そして世界への玄関としての香港のメリットを存分に利用してほしいと述べられました。続いて香港貿易發展局の大阪事務所長伊東正裕氏の歓迎挨拶があり、中華人民共和国駐大阪総領事館の副総領事于淑媛(ウ・シュクエン)氏が挨拶のあと乾杯の音頭をとられ、会食はヒルトン大阪「王朝」の中華料理、旧正月特別料理を楽しみました。

今年のアトラクションは、落語家の三代目桂春蝶師匠に「上方落語への誘い」と題して落語を一席お願いしました。たくさんの小囃や会場との絶妙なやりとりで笑いの連続、春節パーティーにふさわしい内容で会場を盛り上げ、皆さんに大いに楽しんでもらいました。

今年もラッキードローに協会理事企業や会員からたくさんの景品が提供され、特別賞の「キャセイパシフィック航空提供香港往復ペアチケットとヒルトン大阪提供香港コンラッドホテル宿泊券」の抽選の際には場内が最高に盛り上がりました。

最後に当協会の副会長田中義次氏の閉会の挨拶で楽しかったパーティーを終了しました。

2013 香港・春節セミナー in 大阪
~香港と連携して発展する珠江デルタ経済圏 今後の展望~

2月27日に香港貿易發展局と関西日本香港協会共同主催の春節セミナーをヒルトン大阪で開催したところ、182名の参加者で盛会でした。今回のテーマは、成長を続けるアジア経済圏が新たな成長局面に入ったとの認識のもと、香港・中国の状況をより深く理解し、新た

なビジネスの進展に役立ててもらおう目的で企画されました。

講演①は当協会理事、華人経済・経営研究部主任研究員で株式会社貿易人代表取締役の馬場正修氏に「中国新指導部人事と今後の十年」と題した講演をお願いしました。馬場氏は、胡錦涛政権下での成果と課題、新しい習近平体制成立の経緯と新集団指導体制の課題、中国の第十二次五カ年計画の内容などを詳しく解説し、日中関係は政治的に緊張の中にあっても巨大マーケットの中国との経済関係は持続するので、華人・中国企業家との自己人関係(GUAXI)の構築により華人ネットワークへの参入と香港の活用、中国華南地域に生成しつつある「大中華経済圏」、香港・華南・アジアに視点を据えるべしと主張されました。

講演②は、北九州市立大学大学院マネジメント研究科教授研究科長の王効平氏が「東アジア新時代における対中華ビジネス戦略の再考」と題する講演をされました。ASEANが中心的な役割を果たしてきた経済統合の進展状況の動向を豊富な統計資料で解説され、種々な形で交流している中華経済圏の地殻変動に対応する東アジア戦略をグローバルな視点でしっかり打ち出す必要があると力説され、香港とシンガポールがグローバルビジネスのメッカとして国家も企業もグローバル戦略の手本を示していると説明されました。東アジア事業展開にあたって、華人型同族経営の探求が急務であることを痛感したセミナーでした。



「香港・春節セミナー in 大阪」での王効平氏の講演

昨年10月30日に香港貿易發展局大阪事務所セミナー室で「国際化の流れの中に生きる~女性リーダーの役割~」と題した文化セミナーを開催し、27名が参加しました。講師の田嶋株式会社取締役社長伊藤麻美子氏は女性ファッション関連商品や化粧品品の開発・製造・販売と輸出入を営んでおられ、神戸商工会議所の常議員・国際ビジネス委員会委員長として長年国際交流の促進に貢献しておられます。国際化とIT化が進む難しい時代にあっては、国際的視野で物事を考え共存共栄を志すことが肝要で、英語力に乏しく内向的な人が多い日本人は、これから人とのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を子供のころから養う努力が不可欠で、子供に本物を求める夢を与える親の役割も大切だと話されました。

CHUKYO

平成25年度年頭所感及び総会、セミナー、新年名刺交換会について

中京日本香港協会事務局長 佐藤亮一



乾杯の音頭



豊島会長による獅子舞に魂を吹き込む点晴開眼の儀式

恭賀発財〜豊島会長の音頭により平成25年度の総会が2月22日に27名理事出席のもと開催、平成24年度事業報告、決算報告および平成25年度事業計画はすべて全員一致にて了解された。特記すべきは、昨年度目標とした事業計画は、全て滞りなく完遂し、又、収支に影響される会員増強計画のうち、法人会員目標15社(現状14社)は法人企業の協力は得られたが、個人会員目標90名(現状46名)は年間通じプラスマイナスの異動が不断にあり6割程度の達成に終わった、今後親睦会、理事ほか会員の協力を得、目標に近づけていきたい。

さて、パーティーの前行事セミナーにおいては、第1部講師馬場正修氏による「中国新指導部人事と今後十年」としてタイムリーな話題、第2部講師古田茂美氏による「アジア、中国市場進出の課題と展望」とビジネス面でのアドバイス、現状を詳細な資料と共に講演戴き参加者102名大盛況の内に終了することが出来、改めて両講師に感謝申し上げる次第です。

その後、午後6時より恒例の新年パーティー、名刺交換会も80名の参加のもと豊島会長に続きゲストとして駐名古屋中国総領事館領事馬興無氏、名古屋商工会議所会頭高橋治朗氏にご挨拶をいただきました。香港貿易発展局日本首席代表古田茂美氏の乾杯の後、アトラクションを皮切りに抽選会を催し景品も華を添えた。改めて関係各位、理事の皆様には御礼申し上げます。

他方、本年愛知県を舞台にした行事を2件報告します。

まず、2013あいちトリエンナーレの開催。日時は8月10日(土)〜10月27日(日)79日間に亘る3年に一度の一大イベントが名古屋市中心に多方面に催される。即ち、3年に一度の国際芸術祭。テーマは「Awakening -Where Are We Standing- Earth, Memory and Resurrection.」[揺れる大地―我々は何処に立っているか―場所、記憶そして復活]。東日本大震災後のアートを意識しつつ

世界各地で起きている変動と共振しながら国内外、特に東南アジアの先端的現代美術、演劇などのパフォーマンス、オペラを愛知から世界に発信しよう、との趣旨で第二回目として開催される。当協会も香港紹介のパンフレット配布などで参加する。並行して、第二弾として市民参加「ワールドコロポフェスタ」が名古屋栄広場にて世界16カ国(58ブース)による異業種文化交流の場として同時開催される。中京日本香港協会も毎年PRを兼ね参加している。

今後とも、話題性の発信元として香港事情、観光、ビジネスに輪を拡げてゆく所存です。

飛龍 No.73 2013年4月 発行 (禁無断転載)

日本香港協会 全国連合会

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラスティ麹町ビル6階
香港貿易発展局 東京事務所内
電話(03)5210-5901 FAX(03)5210-5860

- NPO法人日本香港協会(東京)
〒102-0083 千代田区麹町3-4 トラスティ麹町ビル6階
香港貿易発展局内 電話(03)5210-5870
- 関西日本香港協会
〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング10階
香港貿易発展局内 電話(06)4705-7030
- 中京日本香港協会
〒460-0003 名古屋市中区錦2-11-27 TH錦ビル8階
株式会社喜齋内 電話(050)3620-2517
- 九州日本香港協会
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目9-28 会議所ビル
(社)福岡県中小企業経営者協会内 電話(092)451-8593
- 山形日本香港協会
〒990-2432 山形市荒橋町1-14-21
(株)日本不動産コンサルティング内 電話(023)633-2110
- 北海道日本香港協会
〒060-8661 札幌市中央区大通西3-11
北洋銀行国際部内 電話(011)261-4288
- 宮城日本香港協会
〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-7-23 明治安田生命仙台一番町ビル3階
(株)JTB東北 交流文化事業部内 電話(022)212-5552
- 沖縄日本香港協会
〒900-0033 那覇市久米2-2-10
那覇商工会議所内 電話(098)868-3758
- 広島日本香港協会
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ3階
(公財)ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センター内
電話(082)248-1400

URL <http://www.jhks.gr.jp>

KYUSHU

九州日本香港協会

九州・香港交流懇談会(講演会)

九州日本香港協会事務局



記念品贈呈：(左)九州日本香港協会 会長 石原 進氏、
(右)香港中華総商会 ジョナサン・チョイ氏



交流会の様子

去る12月2日(日)、九州日本香港協会は九州経済フォーラムと合同で九州・香港交流懇談会(講演会)を香港日本人倶楽部にて開催しました。九州側から九州日本香港協会及び九州経済フォーラムの石原進会長をはじめ約20名、香港側からは香港福岡県人会、香港日本商工会議所をはじめ香港現地で活躍する日本人約30名が参加しました。講演会には駐香港日本国総領事館 隈丸 優次 総領事、香港国際映画祭会長ウィルフレッド・ウォン名誉会長、香港中華総商会ジョナサン・チョイ名誉会頭を講師にお招き、ご講演を頂きました。

隈丸総領事は「香港の魅力と日本・香港関係」について講演を行い、「今日の日中関係が領土問題で冷え込んでいるが、国際都市としての香港の魅力は変わっておらず、日本にとって有利なところを沢山持っている。香港の食品、半導体、電子産業分野などでの日本の貿易相手国としての重要性、また、巨大な中国市場における香港の役割は重要である。日本は香港の利用価値を認識して積極的に活用してほしい」との意見を述べられました。

ウィルフレッド・ウォン名誉会長は「国境を越えた地域間協力」をテーマとして、「世界の軸は西洋からアジアに移行している中、映画産業もアジアで着実に成長を遂げている。しかし、映画産業の中心は依然として圧倒的にハリウッドのままである。またアジアをテーマとした映画も多く作られるようになったが、アジア国同士の連携ではなく、西洋との提携により制作される場合が多い。アジア各国政府が映画ファンドを作り、市場調査・人材育成を国境を越えて行うことが大事。香港はこのようなプラットフォームを提供する最適な

地域である。九州、日本の皆さんにアジア人によるアジアの映画を発展させていくファンドに投資することを期待する」とアジアの映画産業発展に対する思いを語られました。

最後にジョナサン・チョイ名誉会頭は香港と九州の緊密な関係、そして中国とASEANへのゲートウェイとしての香港について講演。香港と九州の緊密な関係は「2011年の香港中華総商会と九州経済連合会とのMOU締結」、「香港大学と北九州市立大学とのMOU締結」など非常に密接である。香港と九州の間には食品、観光、医療、金融分野で協力する大きなチャンスが存在している。中国がASEANとの連携に力を入れている今日、香港のゲートウェイとしての役割はより重要性を持つ。中国へのFDI(海外直接投資)の約68%が香港を経由して多くの中国の会社が香港で上場をしている。ASEAN各国も中国との連携のため香港でアジア地域本部を設置する等積極的に動いている。世界の力が東アジアへの「シフト」している。アジアの経済力が強くなっている。香港はアジア、ASEAN、中国そして九州のためのゲートウェイであるとの講演を行いました。

講演会後のパーティーでは参加者の間で中国・香港について情報交換が行われました。今回は九州日本香港協会にとって初の香港での交流懇談会(講演会)でしたが、香港現地の方のご協力を頂き盛況な会とすることが出来ました。今後も九州と香港、中国、そしてアジアとの交流を活発に進めていきたいと思っております。

YAMAGATA

山形日本香港協会

2013年度春節セミナー&パーティー

山形日本香港協会副会長・事務局長 大山康吉



マツダミヒロ氏と奥山知寿子さんのコラボトーク

2月7日(木)山形テルサにおきまして、参加者過去最高の120名の参加者を得て2013年度春節セミナー&パーティー開催することができました。まず、セミナー講演会に当り、冒頭に主催者を代表して当協会の後藤副会長が挨拶。その後、香港貿易発展局東京事務所長ジョイス・チャン氏に来賓のご挨拶をいただき、県会議員今井栄喜氏より祝辞をいただきました。講演は、当協会でも長く理事をつとめていただいた現在世界中に講演活動と「魔法の質問」の主宰・出筆活動しているマツダミヒロ氏に講演に続いて地元人気女子フリーアナウンサー奥山知寿子さんとのコラボトークで、実践を交えてのコーチング実演になりました。

今回のテーマ「スタッフが自然とやる気になる育成の秘訣」～香港・アジア編～は地元出身のマツダ氏の凱旋講演的な色合いもあり、募集後2日目にして満員締め切りしたような人気には、主催者一同人気の高さにまずは驚かされてしまいました。内容は、「指示」を「質問」に変えるだけで部下ががぜん、やる気になり、どんな問題でも解決に導くシンプル思考法の解説からはじまり、海外からの講演依頼が現在半数以上で、上海・台湾・シンガポール・香港などの日系現地企業からの依頼が特に多く、具体的な問題解決へと導いた事例などご紹介いただきました。

山形で同じ時代を共有していたのに、自分とは大きく違う稀な着眼点と問題意識の強さはどこから生まれてきたのかは、ますます謎めいてきたのが拝聴後の個人的な感想でした。

第二部に移り、パーティーでは主催者代表で渡辺会長挨拶に続き、マツダミヒロ氏の乾杯により開始。その後、香港のプロモーション映像でのPRを香港貿易発展局室田さんからご説明いただきました。恒例目玉アトラクションラッキーードローでは、司会に奥山知寿子さんが飛び入り参加で加わっていた、大いに盛り上げていただきました。結果的に、



マツダミヒロ氏の講演

プロの司会者を依頼した豪華な会になってしまい、これ以上ないパーティーへと変貌させていただいた気がします。

終了後にも余韻が残り、参加者同士の語り合いやマツダ氏出版物の販売も盛況でなかなか終了できなかった次第です。

新に、地元の多くの人々に香港協会の存在や香港への興味を持っていただく機会になったと思えますし、マツダ氏がPR広告塔になって協力をしていただくことで当協会の展開も大きく広がる可能性を感じ取りました。

後日談になりますが、講演の設営やパーティー設営や飲食準備などすべて協会の理事と会員協力で行っておりますが、年々規模が拡大しておりご苦労ぶりも大変になってきておりますが、遣り甲斐へと変化しているのが何とも面白いことです。



毎年恒例となったラッキーードロー

PS. 新年度より、香港在住で山形市出身のリブネ宮崎紀子(香港中文大学日本研究学専攻)さんが新理事として加わっていただくことになりました。

帰郷の際は、香港の新情報や文化・教育での持論などもお伺いする機会を設けておりますが、多岐にわたって今後に期待したいと思います。

山形日本香港協会にとって、非常に力強い方を迎えることができたことをここに報告申し上げます。

HOKKAIDO

北海道日本香港協会

「香港ビジネスセミナー」、「香港のつどい2013」を開催

北海道日本香港協会 事務局



香港ビジネスセミナー

北海道日本香港協会では、さっぽろ雪まつりの開催に合わせて2月6日(水)に「香港ビジネスセミナー」ならびに「香港のつどい2013」を開催しました。

セミナーには、定員を大幅に上回る大勢の皆さまからお申込をいただき、香港および中国の現状に対する関心の高さが窺えました。まずはじめに、香港貿易発展局日本首席代表の古田茂美氏より「アジア時代開幕元年と香港の最新動向」と題し、中国および香港の最新情勢や北海道企業との取引拡大の可能性についてご講演いただきました。特に、コンテンツ産業、フード、ワインが有望とのお話に、香港ビジネスにおける北海道の大きな可能性を感じる事ができました。

続いて、香港経済貿易代表部投資推進室(インベスト香港)室長の佐々木由紀雄氏より「日本企業の香港進出～なぜ今、

香港なのか?」と題してご講演いただきました。香港への投資による中国大陸へのビジネス拡大という観点に、興味を持たれた方も多くいらっしゃいました。具体的な投資成功事例に基づいた日本企業の香港進出における成功のポイントや、香港の自由貿易制度や中国へのゲートウェイ機能活用によるビジネスチャンスについてご説明いただきました。

セミナー終了後には、「香港のつどい2013」を開催しました。冒頭に主催者を代表して当協会の横内会長が挨拶。その後、香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部サリー・ウォン首席代表にご挨拶をいただき、香港政府観光局デービッド・リョン局長の乾杯により、盛大にスタートしました。

会場では、香港とのビジネスに取り組まれている多くの道内企業様のご協力を得て、北海道スイーツや乳製品、ワイン、銘酒などをご提供いただきました。香港政府関係者の方々や参加された皆さまに楽しんでいただくとともに、道産品の魅力をPRしていただく機会にもなりました。

また、アトラクションでは「ダンディー・フォー」の皆さまより、「花は咲く」など最近の曲から、懐かしい青春ソングまで素敵なハーモニーをご披露いただき、会を盛り上げていただきました。毎年人気のラッキーードローでは、特賞としてキャセイパシフィック航空会社様、香港政府観光局様より「札幌-香港ペア往復航空券&ホテル宿泊券」をご提供いただくなど、多くの企業様のご協力で大変豪華な抽選会となりました。香港と北海道両関係者の皆さまに親睦を深めていただき、盛況のうちに会を終えることができました。

MIYAGI

宮城日本香港協会

宮城日本香港協会 事務局 武田 功



全国の事務局長が勢ぞろい



若生副知事の挨拶

全国事務局長会議、昼食講演会を「仙台」で開催

8月26日(日)仙台国際ホテルに於いて、今まで東京で開催されていた全国事務局長会議が当地仙台に於いて初めて開催されました。

全国から代表の理事または事務局長が参加、古田首席代表の挨拶の後、仙台市の高橋プロモーション推進課長の来賓挨拶、奥山仙台市長を団長として行われた香港プロモーション(7月30日～8月3日)の結果について報告がありました。その後各協会からの事業報告、連合会からの報告があり、閉会。19:00から懇親会となり、参加者一同、心置きなく仙台の一夜を満喫した様子でした。

また、8月27日(月)には香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部主催の昼食講演会が仙台勝山館で開催され、総勢

140名が参加する大講演会となりました。若生副知事からの挨拶、その後貿易代表部のサリー・ウォン首席代表の基調講演など4人の方々が登場、質問などもあり、2時間という時間があっという間に過ぎて、和やかな中にも香港と宮城の貿易に対する熱意が伝わってくる素晴らしい講演会となりました。

香港宮城県人会顧問・安部隆孝氏が来仙されました

昨年11月7～8日、香港宮城県人会顧問(元副会長)が、日本人商工会観光サービス部会・東北研修旅行として総勢13名で来仙し、7日夜は仙台駅東にある「滋菜さん三郎」にて懇談会、翌日は県庁を訪問、知事とも短時間ではありますが懇談をすることができました。安部さんは宮城県と香港を結ぶ「絆」です。

OKINAWA

沖縄日本香港協会

沖縄日本香港協会

春節セミナー 開催



ANA航空貨物ハブの視察

香港貿易発展局(日本首席代表 古田茂美氏)と沖縄日本香港協会(会長 國場幸一)の共催で、春節セミナーが、平成25年2月18日(月)かりゆしアーバンリゾート那覇で「世界の5割経済圏アジアのビジネス挑戦」と題し開催された。

講師には、香港を中心に食品・不動産・金融・メディア関連など、多くの分野で事業を展開する新華集団・総裁であり、香港の企業6,000社が加入する香港中華総商会 会頭の要職を務めるジョナサン・チョイ氏を招いて開催されました。

チョイ総裁は、「沖縄は、日本で最も成長が著しいアジアの国々に近く、地理的優位性もある。沖縄は琉球王国時代にアジアとの交易で栄えてきたとお聞きしました。24時間運用可能なANAの航空物流ハブも沖縄にあり、今後大きなビジネスチャンスがあると考えます。例えば日本の農産物の輸出先で最大の市場は香港であり、香港に商品をいかにして展開するかが、今後の発展のカギになると考えます。」と指摘しました。

実際にANAの貨物ハブを視察したことを踏まえ、「沖縄の優位性に着目し、ヤマト運輸・楽天・全日空が協力し、香港において、鮮度を保ちながら配達するワールドサービスを展開している。日本と香港を結ぶ沖



仲井真知事への記念品の贈呈



春節パーティー 参加者と懇談するチョイ名誉会頭

縄は、今後様々な分野で協力できる」と述べました。春節パーティーでは、多くの参加者と懇親を深めて頂きました。

参加者は、チョイ名誉会頭から、沖縄のアジアにおける可能性を示唆して頂き、今後のビジネス展開に大きな励みとなりました。

アジア・フォーラム in 沖縄

香港ビジネス協会世界連盟が毎年開催するアジア・フォーラムは、今年は5月に沖縄で開催されます。沖縄はそのロケーションの良さから、かつては海洋王国として栄えました。その歴史を彷彿とさせるように、沖縄を重視するアジアの各国から数多くの協会メンバーが集結し、日本企業との交流をはかります。世界経済の重心が東へとシフトしている中、日本はアジアビジネスの中でどのような役割を果たせるのかなど、大いに議論していく場でもあります。本フォーラムはアジアでのビジネスネットワークを広げ、最新のマーケット情報を獲得する絶好の機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 日時：2013年5月31日(金)～ 6月1日(土)
- 場所：万国津梁館 サミットホール
(〒905-0026 沖縄県名護市喜瀬1792番地)
- 宿泊：沖縄かりゆしビーチリゾート
オーシャンスパ
- 参加：無料
- 主催：香港ビジネス協会世界連盟、日本香港協会全国連合会、沖縄日本香港協会、香港貿易発展局

<お問い合わせ>

香港貿易発展局

TEL: 06-4705-7030 / FAX: 06-4705-7015

e-mail: osaka.office@hktdc.org

HIROSHIMA

広島日本香港協会

広島日本香港協会、中華料理で春節を祝う

広島日本香港協会事務局



挨拶する深山会長

広島日本香港協会では、2月25日(月)、香港貿易発展局との共催で、市内のリーガロイヤルホテル広島中華料理レストランにて、「春節 昼食・意見交換会」を開催しました。協会からは深山英樹会長、神津善三朗副会長ら8名の役員が、香港貿易発展局からは、大阪事務局長の伊東正裕氏、同次長の田中洋三氏にご参加いただきました。冒頭の深山会長の挨拶では、昨年12月の「香港フォーラム」に、協会メンバーを率いて参加したことについての報告がありました。日本全国の香港協会会員が集まる全国連合会主催の交流会への参加や、香港ビジネス協会世界連盟のメンバーが集まるフォーラムの各種プログラムへの出席を通じて、香港の持つポテンシャルを実感したこと、また、同時期に香港で活動されている広島ゆかりのビジネスパーソンとの交流会も開催し、香港のビジネスの最前線で活躍されている方々から、香港ビジネスに関する生の声を聞くことができ、大変有意義であったことが紹介されました。また、会長は、今後も、是非本フォーラムに継続参加し、香港・中国・東南アジアでのビジネス展開を一層推進するに当たって、現場の生の情報を直接吸収していくため、来年度も広島から数多くの参加者を募りたいと締めくくりました。

続きまして、川北事務局長より、平成24年度の事業実施状況の発表がなされました。本年2月25日現在、会員数は、法人83企業・団体、個人4名の合計87会員で、役員は会長以下、副会長5名、理事8名、監事2名、合計16名体制となっております。2012年6月5日には、年度総会を開催、併せて講演会と交流会をとり行い、合計33名が出席しました。



出席者全員で(前列中央が深山会長)

主力事業であるビジネス分野につきましては、2012年5月の東京における香港貿易発展局主催「Think Global, Think Hong Kong」と銘打つシンポジウム・晩餐会への参加に始まり、香港貿易発展局との協力・連携により、広島市・福山市にてビジネスセミナー(テーマ=食品・農林水産物輸出振興、観光インバウンド促進ほか)・相談会を開催したほか、地元県内企業に対する海外展開支援サービスを積極的に実施しました。香港ビジネス協会世界連盟の旗艦イベントである「香港フォーラム」には、広島協会から7企業・団体から10名が参加、世界中の協会・連盟メンバーとの相互交流を行いました。協会独自のイベントとしましては、「香港フォーラム」期間のサイドプログラムとして、香港の大手旅行代理店EGLツアーズ本社訪問(12月4日)、イオン香港チュンワン・スカイライン店(同)のほか、前述のとおり、フォーラムのミッションメンバーと広島ゆかりのビジネスパーソンとの交流会(同)を、キッチン秀殿(広島出身の小川泰明氏経営の現地レストラン)で開催し、香港におけるビジネスの利点や課題について情報共有しました。

続いて意見交換会では、香港貿易発展局大阪事務所の伊東所長から、「啓徳空港跡地開発プロジェクト」を紹介するプレゼンテーションが行われ、参加者一同巨大インフラ整備計画を通じて引き続き大きく発展する香港について、認識を新たにしました。その後、出席者全員で円卓を囲み、美味しい中華料理を堪能し、中国正月を祝うとともに、新年度の更なる協会の発展を祈念しました。